

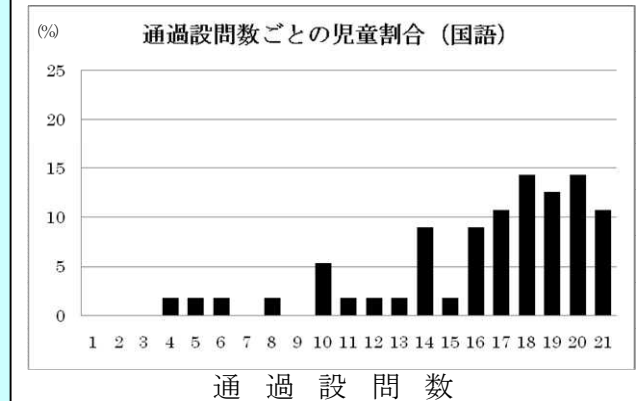
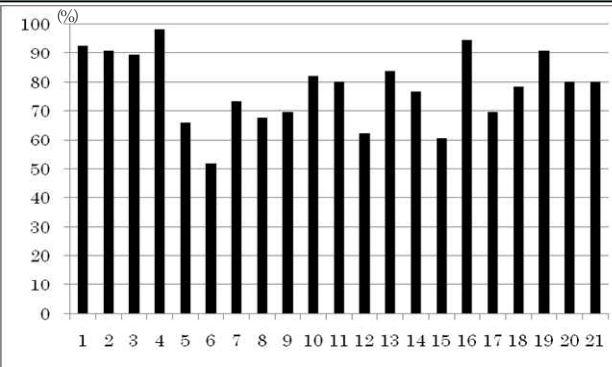
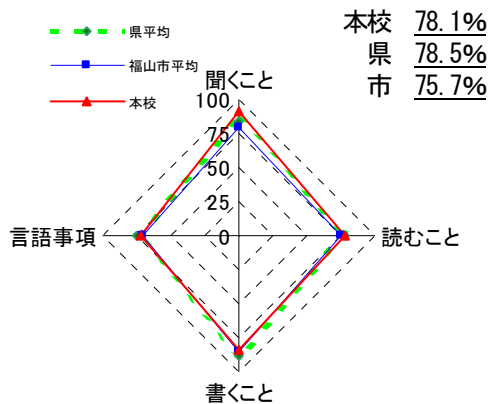
昨年度課題

- ① 主語と述語の関係をとらえることの定着が不十分である。
- ② ローマ字で書くことの定着が不十分である。
- ③ 要点を聞き取ることの定着が不十分である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 教材の一文の主語をとらえさせたり、自分が書いた文の主語と述語のねじれを直させたりするなど、主語と述語の関係を繰り返し取り上げる。 《本年度の目標値：通過率を60%以上にする》(達成)
- ② ローマ字を書く機会を増やし、定着させていく。 《本年度の目標値：通過率を60%以上にする》(達成)
- ③ メモの取り方の型を示して練習していく。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことに課題がある。 (通過率 60.7%)
- ◎国語辞典のひき方(濁音が混じた場合)に課題がある。 (通過率 62.5%)
- ◎以前の学年で学習した漢字の定着に課題がある。(第3学年で学習した漢字の書き, 通過率 51.8%)

取組みの検証

- 時期：1月末
- 方法：年間まとめのテスト
- 目標値：通過率を10%向上

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

- ① 文学的文章の指導において、行動や会話など登場人物の心情が表れる部分に着目させ、その叙述に即して心情を考える指導を続けていく。その際、ペアやグループで意見を交流し、考えを深めあえるよう工夫する。

【全校・他教科等】

- ① 国語辞典をひく活動を学習の中に意識的に取り入れ、50音順の配列を意識した辞典のひき方に習熟させていく。
- ② 既習の漢字を正しく使うという観点で、日記指導、ノート指導を進めていく。

来年度の目標値

- 登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読み取る設問の通過率を65%以上にする。
- 言語事項に関する全ての設問の通過率を60%以上にする。

授業改善シート〔算数〕

校番(2) 福山市立西小学校

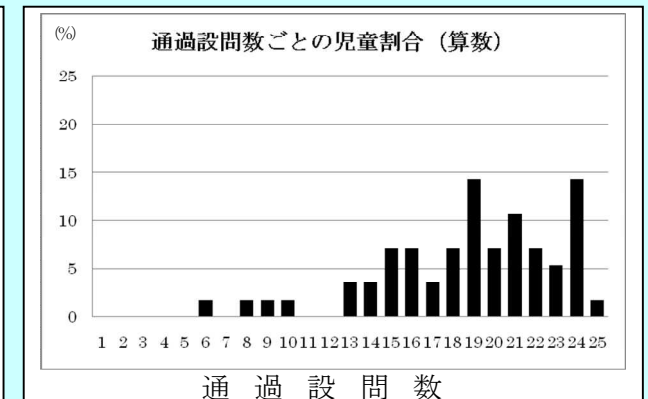
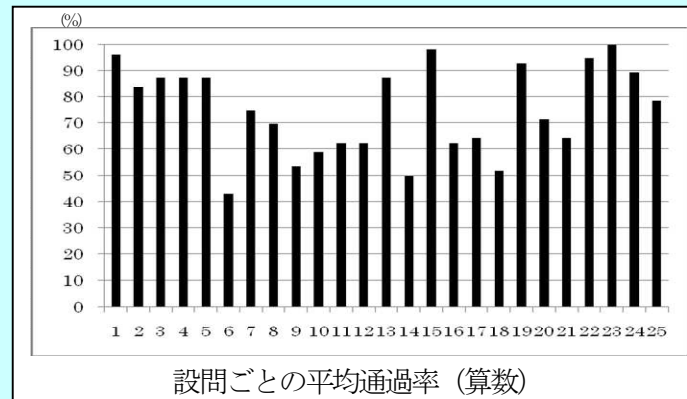
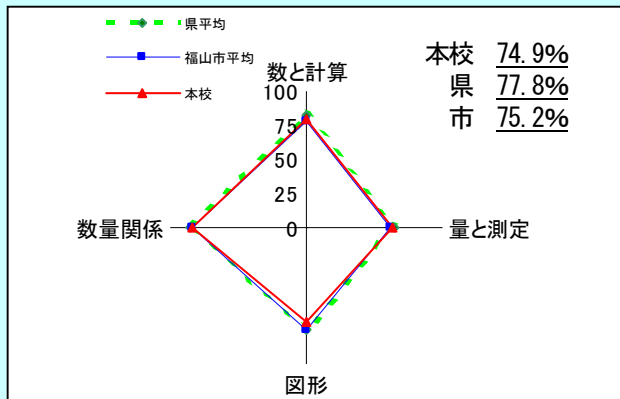
昨年度課題

- ① 数量の関係をつかみ、式に表わすことが不十分である。
- ② 「かさ」「面積」の単位についての量感を伴った理解が不十分である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 問題文を絵や図で表してイメージ化を図り、表や式へとつなげる指導をする。
《本年度の目標値：通過率を60%以上にする》(達成)
- ② mL, dL, L, cm³, m³などの単位と身近なものの量とを結び付けて、実感を伴うような理解をさせる。
《本年度の目標値：通過率を60%以上にする》(面積の単位一達成)

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎分数の意味と表わし方についての理解に課題がある。
(通過率 42.9%)
 - 何を1と見るかが理解できていない。
- ◎複合図形の面積の求め方に課題がある。
(通過率 50.0%)
 - 辺の長さを誤ってとらえている。
- ◎「重さ」「かさ」「面積」の単位についての量感を伴った理解が不十分である。
(通過率 重さ 53.6%, かさ 58.9%, 面積 62.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【算数科】
- ① ノート指導を工夫し、見通しを持った思考とその足あとを残せるようにしていく。
 - ② 問題文を絵や図で表し、イメージ化したり読み取らせたりして、分数の意味を理解させる。
 - ③ mL, dL, L, cm³, m³などの単位と身近なものの量とを結び付けて、実感を伴うような理解をさせる。
- 【全校・他教科等】
- ① 自分の考えを整理し、まとめ、表現する活動を授業の中に位置づけ、思考力、表現力を高めしていく。
 - ② 学習した単位を、その後の算数やその他の教科の授業で活用させる活動を仕組んでいく。

取組みの検証

- 時期：1月末
- 方法：CDTテスト
- 目標値：通過率を10%向上

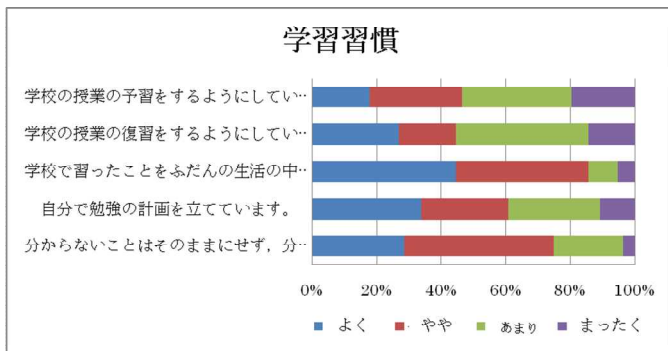
来年度の目標値

- 分数の意味と表わし方に関する設問の通過率を60%以上にする。
- 「重さ」「かさ」「面積」の単位に関連する設問の通過率を65%以上にする。

授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(2)番 福山市立西小学校

1 生活・学習

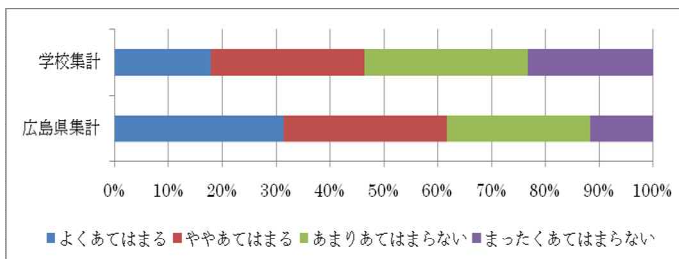


改善したい点(◎「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
◎家庭での学習習慣、読書習慣が確立していない。	・家庭学習のやり方や内容について、丁寧に指導していく。 ・家庭学習の時間を確保するために、家庭での過ごし方（起きる時刻・寝る時刻の固定、テレビやゲームの時間を減らす）を見直していく。
◎自己肯定感が低い。	・お互いに良いところを認め合う活動を計画的に実施していく。

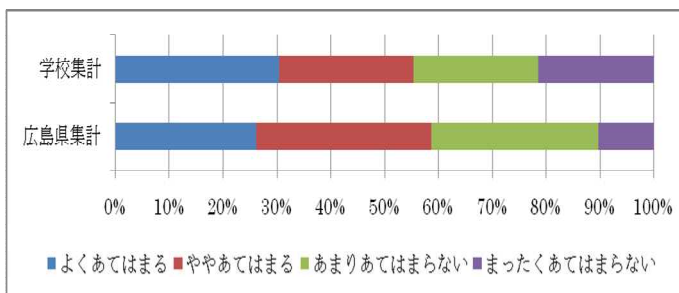
来年度の目標値	・「学校の授業の予習・復習をするようにしている」と答える児童が60%を超える。 (今年度、予習 46.4%, 復習 44.6%)
---------	---

2 教科学習への意識

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数では、理由をあげて自分の考えやとき方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎分からない言葉や漢字を、辞書を使って調べようという姿勢が十分育っていない。 (できるとした児童、昨年度 61.3%→今年度 46.5%) ◎伝えたい中心を考え、相手に分かりやすく話したり書いたりすることが十分できていない。 (できるとした児童、昨年度 50.0%→今年度 53.6%)	・辞書を教室に常備し、分からない言葉や漢字がある場合には、人に訊くのではなく自分で調べ解決する姿勢を育てていく。 ・伝えたい中心をはっきりさせ、「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識した作文やスピーチができるよう指導していく。また、指導者自身もこのような話し方を意識し、言語環境を整えていく。
算数	◎理由をあげて自分の考え方やとき方を説明することが十分できていない。 (できるとした児童、昨年度 56.5%→今年度 55.4%)	・理由をあげて自分の考え方や解き方を説明する機会を増やすため、ペア学習を計画的に取り入れていく。また、ノート指導に力を入れ、児童の書いた説明を正しく評価し、説明の質をあげていく。

来年度の目標値	・「分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています」と答える児童が60%を超える。 (今年度 45.6%) ・「理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています」と答える児童が60%を超える。 (今年度 55.4%)
---------	--

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(2)番 福山市立西小学校

